

エル・グレコ没後400年記念 公開シンポジウム

エル・グレコ再考 1541—2014年：研究の現状と諸問題
El Greco: Present State of Research and Various Problems

日時 2013年1月21日（月） 午後1時—6時
場所 早稲田大学 大隈小講堂
主催 早稲田大学美術史学会
後援 スペイン大使館、日本スペイン協会、美術史学会、地中海学会
早稲田大学総合人文科学研究センター、朝日新聞社
助成 鹿島美術財団
入場無料。一般聴講者には当日12時より整理券を配布（先着200名）

プログラム

（午後12時半 開場）

午後1時から

- ・趣旨説明 「エル・グレコ像の変転と復権」 大高保二郎（早稲田大学）
- ・基調講演 「エル・グレコ神話を問う：画家の資料と著述を解読しながら」
"Cuestionando un mito: leyendo documentos y escritos de El Greco"
フェルナンド・マリーアス（マドリード・アウトノマ大学教授）
（スペイン語。逐次通訳付）

—————休 憩—————

午後3時20分

- ・研究報告（各20分、質疑応答5分）
 1. 「エル・グレコとビザンティン美術」 益田朋幸（早稲田大学）
 2. 「《燃え木を吹く少年》をめぐって—エル・グレコと同時代ヴェネツィア絵画—」
越川倫明（東京藝術大学）
 3. 「エル・グレコとヴァザーリ—初期男性裸体素描の再検討を中心に」
松井美智子（東北学院大学）
 4. 「エル・グレコのパラゴーネ」 松原典子（上智大学）
 5. 「エル・グレコ、歴史意識、マニエラ」 岡田裕成（大阪大学）

—————休 憩—————

午後5時30分

- ・総括（時間の許す限り）
司会進行 川瀬佑介（国立西洋美術館）、大高保二郎
通訳 久米順子（東京外国語大学）、補佐 川瀬

シンポジウムの概要

エル・グレコは、大正11年に購入された名作《受胎告知》が倉敷、大原美術館の所蔵・展示となって以来、我々日本人にもなじみ深い西洋絵画の巨匠の一人である。

そのエル・グレコについて、「El Greco's Visual Poetics (エル・グレコ 眼の詩)」と題した展覧会が2012年10月から大阪、国立国際美術館でオープンし、2013年1月19日からは東京都美術館においても一般公開される。同展のスペイン側監修者として、エル・グレコはもとよりスペイン・ルネサンス美術研究の第一人者フェルナンド・マリーアス教授が来日する。本公開シンポジウムは同氏の来日に合わせて企画、立案されたものであり、2014年が画家の没後400年であることを記念しての、欧米に先駆けての意欲的な試みである。

わが国で初のエル・グレコ展が1986年、国立西洋美術館で開催されてからすでに4半世紀がたち、この間にエル・グレコ、というよりもギリシア人画家ドメニコス・テオトコプロスとしての研究が急速に深化してきており、従来のイタリア、スペインからの、あるいは西ヨーロッパからの視点も確かに重要だが、そのみではこの偉大な、独創的な画家について、その真実の姿を語り得なくなってきたというのが現状である。そうした新たなエル・グレコ像の先導者とも言うべきマリーアス教授をゲストに迎え、着実に業績を積んできた日本側研究者7名を交えての研究報告および討論は、必ずや大きな成果を生むことであろう。

クレタ島に生まれたエル・グレコは25歳の頃、イタリアに渡って約10年間活動した後、1576年、35歳の時にスペインに渡り、後半生の38年間にトレードに過ごして、宗教画家として大成した。その芸術は、「遍歴の画家」と呼ばれるように、ポスト・ビザンティン美術が名残るクレタ島、後期ルネサンスの継承とマニエリスム全盛期のイタリア、そしてプロト・バロック期のトレードなどを土壌として、異なる地域・文化・民族が融合しつつ形成されたのであり、その意味において、まさしくコスモポリタンの芸術家であった。

エル・グレコは、単に宗教画家に止まらない。マニエリスムの追随にも終わらなかった。卓越した肖像を描き、祭壇衝立や彫刻を手がけ、建築論にも通じ、バロック様式を先取りし、晩年には近・現代絵画を予見させる独自のスタイルにまで到達した。しかし破格に過ぎ、時代を超えたがゆえに、その死後は19世紀末まで忘却されたのであった。

かくも多彩かつ複雑な芸術を理解し、その成立要因を解き明かすためには、それぞれの地域、領域の専門家による複眼的な視点と洞察が欠かし得ないであろう。マリーアス教授以下、今回の研究報告メンバーはその要請に十分に応えてくれるであろう。

基調講演、研究報告などはシンポジウムの後、すみやかに議事録として刊行される予定である（和文・欧文）。

エル・グレコ シンポジウム事務局
早稲田大学文学学術院 美術史学コース 大高保二郎研究室
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
greco.sympto@gmail.com (問い合わせ先)